

一 般 質 問 議 題

令和8年西尾市議会3月定例会

令和8年2月25日分

質問順位	1	議席番号	18 番	氏名	中村 なおゆき	答 弁 を 求める者
1	西尾市民病院の持続可能な経営と資金繰りの安全性について					市 長
(1)	一時借入金の常態化と資金ショートのリスクについて					
ア	令和7年12月末時点で一時借入金8億円を計上していますが、この借入れの目的は何ですか。					
イ	一般会計からの繰入金の交付と実際に支払う時期が違うため、資金繰りを圧迫していると考えますが、どのように認識していますか。					
ウ	過去5年間の一時借入金の実態はどのようですか。また、金利負担は年間いくらですか。					
エ	碧南市民病院では、年度途中で約14億円の緊急補正を余儀なくされました。西尾市民病院でも同様の事態が発生した場合、財政調整基金や予備費で即座に対応できますか。また、資金ショートのリスクをどのように評価し、緊急時の資金確保策を整備していますか。					
(2)	実質的な手元資金と月次キャッシュフローの管理状況について					
ア	現金預金の内訳について、令和6年度末の現金預金は19億5,000万円でしたが、現在の自己資金はいくらですか。また、この自己資金で何カ月分の運転資金をカバーできますか。					
イ	月次キャッシュフローの実態について、過去12カ月間の月次キャッシュフローはどのようですか。					
(3)	令和6年度決算と構造的赤字の深刻さについて					
ア	令和6年度決算では医業収益71億円に対し、医業費用96億円で医業損失約26億円という深刻な医業赤字です。この構造的赤字を経営努力で改善可能な範囲と考えていますか。					
イ	人件費比率54.5%は、同規模の公立病院と比較してどのような水準ですか。また、人件費の適正化をどのように進める計画ですか。					
(4)	危機管理体制について					

<p>ア 一般会計から、市民病院へ年間約20億円を繰り入れていますが、碧南市民病院のような財政非常事態宣言を発出するリスクをどのように認識していますか。</p>	
<p>イ 医師の大量退職、医療事故による訴訟、設備の緊急更新など、予期しない費用が必要となった場合、即座に対応できる財政余力はありますか。</p>	
<p>ウ 赤字が継続する場合、診療科の見直しや病床数削減などの選択肢を検討していますか。</p>	
<p>(5) 指定管理者制度の本格検討について</p>	
<p>ア あま市民病院は、2019年に公益社団法人地域医療振興協会を指定管理者として導入後、黒字化への成果を上げましたが、市長はこの成功事例をどのように評価していますか。</p>	
<p>イ 公益社団法人地域医療振興協会は、全国で27病院・50診療所を運営し、へき地医療支援の実績もあります。市長は、この協会の実績を調査していますか。また、あま市民病院のように、西尾市民病院も指定管理者制度の本格検討に入るべきではないですか。</p>	
<p>ウ 西尾市民病院では、病院経営の情報を市民にどの程度開示していますか。</p>	
<p>(6) 持続可能な地域医療のために</p>	
<p>ア 累積欠損金115億円、毎年20億円の繰入金という現状は、将来世代に過大な負担を強いることとなります。市長は「持続可能な地域医療」と「財政健全化」の両立をどのように実現しますか。また、どこまで赤字が拡大すれば限界と判断しますか。</p>	
<p>イ 公営企業法の全部適用や指定管理者制度、地方独立行政法人化といった経営形態の抜本の見直しを検討する必要があると考えますが、市長の見解はどのようなのですか。</p>	
<p>2 人と動物が共生する社会の実現について</p>	<p>市 長</p>
<p>(1) 市では、ペットのワクチン接種や持病をどのように管理していますか。</p>	<p>教 育 長</p>
<p>(2) 災害時のペット同行避難について、本市の考えはどのようなのですか。</p>	
<p>(3) 多頭飼育崩壊の未然防止として、多頭飼育を届出制にする条例を制定する自治体が増えています。本市でも、問題が深刻化する前に介入できる「多頭飼育届出制」を導入し、適正飼養を促す考えはありますか。</p>	
<p>(4) 保護活動団体が実施している「命の授業」は、将来の無責任な飼育や虐待を減らすことにつながるものと考えます。小・中学校において、こうした外部団体と連携した啓発授業を積極的に取り入れませんか。</p>	

質問順位	2	議席番号	5 番	氏名	渡辺 将司	答 弁 を 求める者
1	市街化調整区域の土地利用について					市 長
(1)	市街化調整区域における人口推移、空き家の現状、農地の利用実態について、市としてどのように認識していますか。					
(2)	市街化調整区域で建築を制限していることによる地域への影響をどのように考えていますか。					
(3)	市街化調整区域での空き家問題をどのように捉えていますか。					
(4)	市街化調整区域の農地において、未利用地が増えている現状を市としてどのように考えていますか。					
(5)	市の政策における市域全体の土地利用について、どのように考えていますか。					
(6)	今後の市街化調整区域の土地利用について、市としての基本的な姿勢はどのようなのですか。					
質問順位	3	議席番号	9 番	氏名	岩下 一隆	答 弁 を 求める者
1	空き家等対策の取組と利活用促進について					市 長
(1)	本市における最新の空き家、特定空家、管理不全空家の把握状況はどのようなか。					
(2)	空き家、特定空家、管理不全空家に対する相談件数はどのようなか。					
(3)	現状、空き家バンクの登録件数が少ない理由をどのように分析しているか。					
(4)	登録を促進するために、家財処分や簡易修繕の支援、民間事業者との連携強化などの取組を検討しているか。					
(5)	2023年度の空家等対策特別措置法改正により、管理不全空家への指導・勧告が可能となった。本市ではこの改正を踏まえ、どのような運用方針を考えているか。					
(6)	固定資産税の優遇解除や建替え規制緩和などの改正内容を、どのように所有者へ周知しているか。					
(7)	空き家を地域資源として活用するため、リノベーションによる賃貸化や移住促進、子育て世帯への活用など、民間との協働によるモデル事業を検討しているか。					

2 市内企業のSBT認定取得について			市長
(1) 市内企業のSBT認定取得の現状はどのようなか。			
(2) 市内企業がSBT認定取得に向けて直面している課題を把握しているか。			
(3) SBT認定取得を目指す企業に対する、具体的な施策はどのようなか。			
質問順位	4	議席番号 14 番 氏名 ささき えみ	答弁を 求める者
1 ハコモノから生活・交通インフラへの予算配分変更を			市長
(1) 施設の必要総量は減ることが想定されるが、インフラについては必ずしもそうではないと考えられるが、市の考えはどうか。			
(2) 建設業界においても、人材確保が困難とされており、入札に応じられない企業が全国でも見受けられる。インフラ整備の必要性は増えているが、請け負う業者は減っている。本市の状況はどのようなか。市内業者で賄える状況か伺う。			
(3) 公共工事の役割として、必要なインフラを作ることと、経済を回すための投資としての意味があると考えますが、市の考えはどうか。			
(4) ハコモノ建設は市外や国外からの材料を使う割合が高いが、インフラ整備は人件費の占める割合が高く、より地域で経済循環しやすいと考えるが、市の考えはどうか。			
(5) 必要性も経済効果もより高いインフラ整備を重視してシフトしていくべきと考えるが、どうか。			
2 児童館の利用促進について			市長
(1) 児童館は18歳未満の子どもが自由に利用することができる児童福祉施設であることは、あまり知られていない。各児童館の利用状況はどのようなか。			
(2) 利用時間が現状17時までとなっているが、これでは中高生は利用しにくい。開館時間延長を試験的に行うということだが、どのようなか。			
(3) より多くの子どもたちが利用しやすいように、また愛着をもってもらうためにも愛称を募集しないか。			
(4) 児童館の主の目的は遊びを通して、心身の健やかな成長と情操を豊かにすることであるが、市の状況はどのようなか。			
(5) 市内の飲食店に協力してもらい、賞味期限が近い商品を児童館で配布することを検討しないか。			

3 親子のための共育推進を			市長
(1) 本市での児童虐待件数の推移と傾向について伺う。			教育長
(2) 育児に悩んでいる「親」に対する相談体制について、本市の取組と現状を伺う。			
(3) 本市の親学への考えについて伺う。			
(4) 親学推進協力企業制度の導入を検討しないか。			
質問順位	5	議席番号 25 番 氏名 大塚 久美子	答弁を 求める者
1 日中一時支援の安定的継続と、障がい者の才能の発揮や社会参加を支える支援の在り方について			市長
(1) 本市における日中一時支援事業の目的はどのようなか。また、現在の利用対象者をどのような考え方に基づいて設定したのか。			
(2) グループホーム入所後の障がい者について、日中一時支援の利用を現行制度上どのように運用しているのか。			
(3) 本人の特性や支援計画を踏まえ、才能の発揮や社会参加の観点から要綱の見直し、または運用の柔軟化により、グループホーム入所後においても日中一時支援の利用を可能とすることを検討しないか。			
(4) 本市における日中一時支援事業について、事業所に支払われる委託料・補助単価は、どのような考え方に基づいて設定されているのか。			
(5) 日中一時支援事業を将来にわたって安定的に継続し、利用者が安心して支援を受けられるようにするため、事業所運営の実態を踏まえた委託料・補助単価の見直しや、運営実態調査の実施を検討する考えはないか。			
2 高齢者等が安心して最期を迎えられる死後事務支援(エンディングサポート)について			市長
(1) 終活支援の対象として想定しているのは、どのような市民か。			
(2) 終活に関する不安は、本人が自ら相談に来ることが難しい場合も多いと考えるが、どのように把握し、支援につなげることを想定しているのか。			
(3) 死後事務支援において弁護士や司法書士などの専門職との関わりを、どのような視点で整理をしていく考えか。			

3 切れ目のない子育て支援と、家庭の多様な困難に寄り添う支援体制について			市長
(1) 育休退園の廃止に向けての取組状況はどのようなか。			
(2) 発達障がいや気になる子どもを育てる家庭では、早期支援と保護者への伴走支援が重要だが、取組状況はどのようなか。			
(3) 子育てと介護が同時に重なるダブルケア世帯の把握はできているか。			
(4) 子育て世帯の多様な家庭状況に対応する必要があるが、保護者が「どこに相談すればよいか分からない」状態にならないための取組はどのようなか。			
質問順位	6	議席番号 2 番 氏名 山市 志保	答弁を 求める者
1 社会全体で支える子育て支援へ			市長
(1) ファミリー・サポート・センター事業について、令和6年度の依頼会員の登録者数と実際に利用した依頼会員数を伺う。			
(2) ファミリー・サポート・センター事業のアドバイザーの雇用形態について伺う。			
(3) 事故発生時に当事者間での解決を基本とする現行制度は責任の所在が不明確なままであり、依頼会員に大きな負担を生じさせているが、課題として認識しているか。			
(4) 尼崎市は、社会福祉士のような専門職を配置する社会福祉協議会へファミリー・サポート・センター事業を委託しているが、本市においても組織として専門性を担保できる体制を構築する考えはないのか伺う。			
(5) 子育て支援の拡充に不可欠な保育士の確保について、市はどのような課題認識を持ち、処遇改善や人材確保に向けた具体的な支援策を検討しているか。			
(6) 西尾市が掲げる「こどもが真ん中にあるまち」の理念を踏まえ、子どもと家庭を社会全体で支える体制を今後どのように強化していくのか伺う。			
2 水道事業の官民連携と財政運営の妥当性について			市長
(1) 令和6年決算における水道事業の純利益、内部留保、実績値と計画値について伺う。			
(2) 令和4年度から令和6年度までの実績値と計画値の当期純利益には、3年間で約5億9,450万円もの乖離が生じている。この状況を踏まえ、昨年10月に実施した値上げは妥当な判断であったのか、市の見解を伺う。			
(3) 下水道についてウォーターPPPを検討しているが、上水道についても同様に検討しているか。			
(4) 官民連携による「コスト削減効果」を検証しているか。			
(5) 官民連携した場合に災害時の対応義務や撤退時の責任分担が問題となってくるが、どのように考えるか。			

一般質問議題

令和8年西尾市議会3月定例会

令和8年2月26日分

質問順位	7	議席番号	17 番	氏名	小林 孝幸	答弁を 求める者
1	第4回にしおマラソンについて					市長
(1)	本大会の目的は、スポーツ振興、観光振興、交流人口の創出のどこに最も重きを置いているのか。					
(2)	本大会の収支状況はどのようなか。					
(3)	参加ランナーのうち、市内宿泊者はどのくらいあったか。					
(4)	本大会による市民1人当たりの負担額はいくらか。					
(5)	次回大会に向け、宿泊率向上や経済波及効果を高めるための具体的改善策はどのようなか。					
(6)	愛知こどもの国をスタートかゴールにしないか。					
(7)	にしおマラソンにかける市長の思いはどのようなか。					
質問順位	8	議席番号	13 番	氏名	牧 一心	答弁を 求める者
1	インフラの老朽化と資材高騰に立ち向かう発注方式の刷新に向けて					市長
(1)	現在、本市が取り組む公民連携の多くは、包括連携協定等のソフト事業が主であり、民間の資金やノウハウを投入して市の歳出抑制や歳入確保に直結させるハード整備の実績が乏しいと考える。行財政改革の観点から、公民連携(PPP)のハード整備について本市の認識を伺う。					
(2)	近隣自治体ではハード整備において、コスト削減や税収増、さらには市民サービスの向上を実現する公民連携(PPP)の手法を積極的に取り入れている。本市においても、行財政への負担を軽減できるような事業手法を選択肢として、積極的に採用していくべきと考えるが、市の見解を伺う。					

<p>(3) 公民連携(PPP)等の手法を導入する際、地元企業にとってはノウハウや資金調達の実績不足が参入障壁となりやすいが、地域経済の活性化のためには、地元企業が主体的な役割を担えることが望ましい。公募が出てから手法を検討するのではなく、平時から地元企業と共に新しい発注手法について学び、意見交換を行う場を設ける考えはないか。</p>			
<p>(4) 各部局で事業を進める縦割り行政では、公民連携の可能性が見落とされることがある。一定額以上のハード整備事業については、予算要求前に必ず公民連携(PPP)導入の可能性を検討し、調書作成など「優先検討のルール化」を設けるべきと考える。市長のリーダーシップで規定を設ける考えはないか。</p>			
<p>(5) 本市において、公民連携(PPP)等の専門的ノウハウの習得に特化した「人的投資」は現状どれだけ行われているか。市長が掲げる「市政経営ができる自治体」へと進化するために、一般的な階層別研修とは別に、専門人材を養成することが求められていると考えるがどうか。</p>			
質問順位	9	議席番号 10 番 氏名 山本 栄児	答 弁 を 求める者
1 市民協働により支えられるにしおマラソンの運営体制について			市 長
(1) にしおマラソンにおけるボランティアの運営体制について、本市の役割を伺う。			
(2) ボランティアの現場状況をどのように把握しているか。			
(3) 持続可能な大会運営に向け、今後の方向性について伺う。			
2 単眼視(片目失明)の方に対する本市の認識と支援の在り方について			市 長
(1) 単眼視の方が日常生活で抱える困難について、どのように認識しているか。			
(2) 単眼視の方からの相談状況について伺う。			
(3) 単眼視の方に対する今後の支援の在り方について伺う。			
質問順位	10	議席番号 28 番 氏名 前田 修	答 弁 を 求める者
1 令和8年度予算における市民への影響について			市 長
(1) 予算編成方針の際の削減目標に対して、どれほどの予算削減に至ったか。それぞれの部・課においての詳細はどのようなか。			

(2) 予算を削減するにあたって、関係者への十分な説明と合意を得ることはできているとの考えか。				
(3) 令和8年度において、国・県の補助金・交付金が市の財政に与える影響はどのようなか。				
(4) 政府の社会保障関連の予算削減が計画されるがどのような影響があるか。				
2 太陽光パネル設置事業への対応について				
(1) 農地や山間部、空き地等市内での太陽光パネルの設置状況はどのようなか。			市長	
(2) 太陽光パネルの設置にあたって業者との協議はどのようなか。また、近隣住民の不安や意見・要望はどのようなか。				
(3) 国のガイドラインがあるが、地域住民の安心や環境保全のために市としてのガイドラインの作成や独自の条例の制定が必要ではないか。				
3 コスト重視ではなく、地産地消と「豊かな学校給食」を			市長 教育長	
(1) 本市における学校給食の提供方式について、学校給食運営協議会から答申が出されているが、教育委員会としてどのように受け止めているか。				
(2) 学校給食は、コスト重視ではなく、「豊かな学校給食」にするためにどうあるべきかを考えるべきである。本市の自校調理方式が、全国的にも優れていると思うが、自校調理方式をどう評価しているか。				
(3) 地元食材や有機食材を利用することなど、将来的な地元農業政策の視点からの学校給食の検討も大事だと思うが、市としてどう考えるか。				
質問順位	11	議席番号 1 番	氏名 くの 拓海	答弁を 求める者
1 将来の西尾市について			市長	
(1) 本市の人口減少問題に対し、増加支援か現状維持か減少受入の3択ではどのように考えるか。				
(2) 第2期西尾市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンについて、どのような反省点があるか。				
(3) 日本人男女別の出生数割合を全国と比較した場合、10代までは推計の出生数に近い割合だが、20代では男女の人数格差が広がっている。このことについてどのように考えるか。				
(4) 全国平均と比較し婚姻率が低い、原因をどのように考えるか。				

(5) 在留資格の種類別の外国人人口はどのようか。			
(6) 今後、本市の人口問題に対してどのような対応を考えているか。			
(7) 事業所数の減少について、その主な要因をどのように考えているか。			
(8) 人口減少による歳入の減少をどのように予測しているか。			
(9) 将来にわたり発生する公共施設の維持管理費などの固定費をどのように予測しているか。			
質問順位	12	議席番号 7 番 氏名 神田 たかひろ	答 弁 を 求める者
1 子どもたちの未来を育む学校給食における食育の在り方について			市 長
(1) 本市の学校給食の提供方式について			教 育 長
ア 現在の状況はどのようか。			
イ 令和7年9月の西尾市学校給食運営協議会からの答申では、「センター方式（共同調理場）とすることが望ましい」とされていたが、そのような答申内容に至った経緯はどのようか。			
ウ 答申書の評価比較において自校方式がセンター方式よりも優位性があるとされた項目はあるか。			
エ 現在の給食センターの受配校にとって、給食センターの見学は食育の場として必要と考えるが、現在の実施状況はどのようか。また、給食センターにおける食育活動として今後実施する予定のものはあるか。			
(2) 本市の栄養教諭について			
ア 栄養教諭の役割と職務内容はどのようか。			
イ 現在の栄養教諭の配置人数はどのようか。			
ウ 栄養教諭の雇用形態、配置基準はどのようか。			
エ 自校方式の学校を全てセンター方式とした場合の栄養教諭の配置人数はどのようか。			

<p>オ 栄養教諭を市が独自に雇用している事例はあるか。</p>	
<p>カ 栄養教諭の配置基準の見直しについて、国などに要望していく考えはあるか。</p>	
<p>(3) 「西尾市における学校給食の提供方式に係る基本方針」の策定について</p>	
<p>ア 令和8年度に、佐久島しおさい学校を除く自校方式の児童の保護者を対象として、説明会及び給食センター見学会・試食会を開催する予定とのことだが、対象を自校方式の保護者のみに限定する理由は何か。学校給食は市全体の課題であることから、西尾市民が誰でも参加できる形にする考えはないか。</p>	

一般質問議題

令和8年西尾市議会3月定例会

令和8年2月27日分

質問順位	議席番号	氏名	答弁を 求める者
13	11 番	牧 博之	
1	地元農業の課題と未来について		市長
(1)	市街化調整区域における農地の宅地化や他用途への転用が進む中で、いかにして優良な農地を守り次世代へつないでいくか、市の見解はどのようなか。		教育長
(2)	生産者にとって農業用水の供給は命綱になるが、市としてその意義についてどのように考えているか。		
(3)	JA西三河が現在建設中の総合集出荷場がもたらすメリットについて、どのように捉えているか。		
(4)	学校給食において地域の農産物を使用することは重要だと考えるが、納品は可能か。		
(5)	本市の農業の持続的な発展が求められるが、将来像についてどのように考えるか。		
2	吉良温泉エリアの活性化について		市長
(1)	吉良地区における潮干狩りについて、来場者数の推移やアサリの取れ具合など現状はどのようなか。		
(2)	市有財産有効活用民間提案制度を活用し、昨年度、梶島で1日1組限定の無人島サバイバル体験を常時提供する提案が民間事業者よりあったが、制度の概要と利用状況はどのようなか。		
(3)	吉良温泉エリアの活性化における観光施策について、宿泊拠点の充実と体験型観光による滞在の延伸が不可欠である。夏の恒例イベントとしてハワイアンフェスティバルや吉良花火大会を開催しているが、その他、西尾市唯一の温泉地「吉良温泉」の魅力を生かすために取り組んでいる事業は何か。		
14	15 番	福西 あきひと	
1	次世代へつなぐ平和の記憶と遺族会の存続について		市長
(1)	戦後80年を迎え、戦争の記憶の風化に対する本市の認識はどのようなか。		

(2) 高齢化による会員減少が止まらない遺族会の活動状況はどのようなか。				
(3) 未来へつなぐ「新たな平和継承」の仕組みづくりを推進しないか。				
質問順位	15	議席番号 4 番	氏名 藤田 秀徳	答 弁 を 求める者
1 農業振興と新規就農者支援・移住定住促進について			市 長	
(1) 現在、新規就農を希望する方々に対し、どのような相談体制や研修制度、農地の確保支援、資金面での支援策を講じているか。また、それによって何人の新規就農者が誕生し、定着しているか、支援実績について伺う。				
(2) 定着した新規就農者が経営を安定させ、規模拡大や多角化、高付加価値化など、次のステップへと発展していく上で、どのような課題があると認識しているか。				
(3) 本市の農業担い手確保に向けたビジョンと新たな取組はどのようなか。また、市外移住支援や多様な主体連携による、魅力的な農業創出への展望はどのようなか。				
2 空き家の現状と今後の対応について			市 長	
(1) 本市で把握している空き家の件数はどのようなか。また、相談等の状況はどのようなか。				
(2) 相談等のあった空き家に対する指導の状況はどのようなか。また、指導が難しい場合の対応はどのようなか。				
(3) 国や県の補助制度の有無や活用状況はどのようなか。				
(4) 空き家の解体を促す補助制度のニーズを把握しているか。				
(5) 他自治体独自の補助制度の調査をしているか。また、単独補助に対する効果や課題などの考えはどのようなか。				
(6) 市独自の補助制度の創設を含めた支援策の検討を進める考えはあるか。また、別の方策は考えているか。				
質問順位	16	議席番号 8 番	氏名 石川 まゆみ	答 弁 を 求める者
1 公共施設使用料の適正化による負担の公平性・透明性の確保と、地域活性化に向けた柔軟な運用について			市 長	
(1) 西尾市総合福祉センターの名称や運営方法等を見直すための利用者アンケートが実施されたが、その結果はどのようなか。				

(2) 西尾いきものふれあいの里のネイチャーセンター内にある研修室は、無料で使用することができるが、施設使用料を徴収することを考えないか。			市 長 教 育 長	
(3) 市ホームページに新料金表が掲載されているが、無料で貸出可能な施設や部屋の一覧がない。市民の透明性を高めるため、無料施設や無料利用条件の一覧表を市ホームページで新たに公表する考えはないか。				
2 誰もが幸せに感じる社会のために必要な教育と、自立するためのすべについて				
(1) ひきこもりで悩む本人や家族が相談する場合、どこが窓口となるか。また、市内連携体制はどのようなか。				
(2) 西尾市子ども・若者総合相談センター「コンパス」ではひきこもりや不登校など様々な悩みを抱える子ども・若者とその保護者などから相談を受け付けているが、相談件数は極端に少ないと考える。実際のひきこもりの相談人数とひきこもりの推計人数との乖離があると思うがどうか。			市 長	
(3) 不登校や不登校傾向にある児童生徒に対し、現在どのような支援を行っているか。				
(4) インクルーシブ教育の理念に基づき、障がいのある子どもたちと積極的に交流を行うべきと考えるがどうか。				
3 安心して暮らせるまちをつくるために				
(1) 市道細池須脇6号線が3月上旬に開通する予定だが、地元町内会や小学校の要望である押しボタン式信号機の設置は安全面を考えれば必須であると考えがどうか。			市 長	
(2) 愛知県の南海トラフ地震被害予測の見直しが令和8年6月頃公表とのことだが、地域防災計画や津波避難計画が修正される予定とのことだが、どのように考えているか。				
(3) 消防団員の加入促進のため、中・高生に対して避難訓練のほかに簡単な救護体験や危機管理の教室などを開催し興味づけをしたらどうか。				
(4) 中長期ビザで滞在中の外国人の中に1年以内で出国する場合もあるが、その場合、住民税の課税及び徴収はどのように行っているか。				
質問順位	17	議席番号 6 番	氏名 細井 まゆみ	答 弁 を 求める者
1 放置自転車の対応について			市 長	
(1) 現在、本市の放置自転車は何台あるか。				
(2) その台数の多さを過去の台数と比べて、市としてどのようにとらえているか。				

(3) 放置自転車の処理方法はどのようなか。				
(4) 1台あたりの処分にかかる費用はどのようなか。				
(5) リサイクルしている台数とその販売方法はどのようなか。				
(6) 近隣市では駐輪場を有料としているところが多いが、放置自転車を減らすために、西尾駅駐輪場を有料化して、人の目で管理できるようにしないか。				
(7) 近隣市での駐輪場の有料と無料の状況はどのようなか。				
(8) 放置自転車を減らすために、自転車ポストなる不要自転車の置き場をつくれぬか。				
(9) 放置自転車を減らすために、他に何か対策はあるか。				
(10) 市が回収した放置自転車をリサイクルする仕組みを考えないか。				
質問順位	18	議席番号 12 番 氏名 杉浦 こうき		答 弁 を 求める者
1 自治体によるスポーツチーム支援の意義や正当性について				市 長
(1) 豊橋市とBリーグ三遠ネオフェニックス、秋田市とJ2ブラウブリッツ秋田など、競技施設整備に関する問題が取り沙汰されている。こうした自治体によるプロスポーツチームへの巨額資金を伴う支援について、市の見解はどのようなか。				
(2) 本市をマザーホームタウンとするデンソーエアリービーズへの支援の状況はどのようなか。				
(3) 本市をホームタウンの1つとする社会人サッカークラブFC刈谷への支援の状況はどのようなか。				
(4) 中日ドラゴンズ2軍拠点の誘致について手を挙げる考えを示しているが、状況はどのようなか。				
2 にしおマラソンの現状分析と今後の在り方について			市 長	
(1) にしおマラソンの前身である一色マラソンの事業内容はどのようなであったか。				
(2) 昭和41年の第1回大会から50回以上も開催された一色マラソンが終了した経緯はどのようなか。				

(3) にしおマラソンの事業内容はどのようなか。	
(4) にしおマラソンのスタッフはどのように確保しているのか。	
(5) にしおマラソンと一色マラソンを比較し、実施効果の違いをどのように考えているのか。	
(6) 全国のマラソン大会の開催状況はどのようなか。	